

ワークシート(A)表 前時にて説明+準備 ※青字は授業における取り扱い方、赤字は解答例や生徒の記入例

テーマ③ 日本の社会保障の持続可能な方向性は何か？(全体テーマ)

< 事前話し合い >

- W1. 資料集 p248(『最新 政治・経済資料集 2023』第一学習社, 2023)の主張A、Bから、福祉提供者を政府にすべきか、民間にすべきかという2つの視点を理解しよう
- W2. これまでの学習を踏まえ、あなたが福祉で優先すべきことは何かをロイロノートのカードで図示しよう(カードW2)
- W3. カードW2を共有し、優先して解決すべき課題は何かグループで話し合おう

< レポート課題 >

W4. 【事前準備】話し合いを踏まえ、改めて優先すべきことを図示し、その根拠をロイロノートのカードにまとめよう。(カードW4)

注意点

- 「社会保障の規模と負担のバランスをどのように取るのか」について
 - ・現在の社会保障の規模を変えない場合、負担は増えざるを得ないものとする
 - ・「理由・根拠・解説」でどの負担をどう変化させるのかという内容と、理由について触れる
- 意見の根拠に現状を示すデータを1つ以上使用し、出典を明記してカードに添付すること
例：資料集の画像を写真で添付→ページ数を明記 WEB上の資料→URLとデータの出典元を明記

以下、レイアウト(メモ用) ※レポート下書き用で使用

意見の図示

①社会保障の規模	縮小 ← 変えない → 拡大
②負担	減 ← 変えない → 増
③優先すべき課題 (優先順位を記入)	子育て支援 高齢者医療 現役世代の保障 その他 【 】 【 】 【 】 【 】
④↑における民間活用	民間中心 ← → 政府中心

理由・根拠・解説

○社会保障の規模と負担のバランスをどう取るか？(①・②の理由を含む)
税 or 保険料 / 誰に対して / 制限をかける or かけない

○優先すべき課題の設定理由・根拠(③の理由)

○具体的な施策・意見など(④の理由や方法を含む)

○添付するデータメモ(カードに必ず着ける)

ワークシート(A)裏 : 本時にて使用

< 意見共有 >

W5. 班員に自分の意見を発表しよう。聞き手は質問・疑問を投げかけて掘り下げ、妥当性を評価しよう。

評価の観点

	A	B	C
保障の規模と負担のバランス(①②)	矛盾無く、客観的な根拠に基づいた意見が書けている	矛盾の無い意見が書けている	矛盾がある、または一貫していない
優先すべき課題・施策(③④)	客観的な根拠に基づいて優先事項を考え、具体的な記述ができています	客観的な根拠に基づいて優先事項を考えている	優先事項が主観の域を出ない 自分の立場を最優先した意見になっている

<p>(○○)さん メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高福祉高負担 ・高齢者医療の所得制限は増やす ・子育て支援重視 <p>評価</p> <p>保障の規模と負担のバランス→ (A・<u>B</u>・C) 優先すべき課題・施策 → (A・<u>B</u>・C)</p>	<p>(△△)さん メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模を変えない→消費税増税 ・子育て支援重視 ・民間サービスを活用 <p>評価</p> <p>保障の規模と負担のバランス→ (<u>A</u>・B・C) 優先すべき課題・施策 → (A・<u>B</u>・C)</p>
<p>(□□)さん メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規模は変えないが、現役世代の負担最小限に ・子育て支援重視 ・民間企業による社員への出産時の助成金を増額 <p>評価</p> <p>保障の規模と負担のバランス→ (A・<u>B</u>・C) 優先すべき課題・施策 → (A・<u>B</u>・C)</p>	<p>(☆☆)さん メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低福祉低負担 自助を優先 ・現役世代への保障重視 ・負担が減れば少子化対策にもつながる <p>評価</p> <p>保障の規模と負担のバランス→ (<u>A</u>・B・C) 優先すべき課題・施策 → (<u>A</u>・B・C)</p>

メモ

少子高齢社会において、持続可能なしくみをどのようにデザインするべきか

単元を通して身に付けたい力

- ①社会問題に関連する知識を深め、社会問題そのものを理解する力、問題を発見する力を養う
- ②問題を分析しそこにアプローチする解決策を考える力を養う
- ③少子高齢社会における「持続可能」なしくみを模索する

導入 少子高齢社会で発生する問題点は？

働き手不足、年金問題、定年退職の引上げ、介護をする人が不足

問題点を1つ選び、解決策の方針を書こう。

<働き手不足> AIによる効率化 外国人労働者を増やす

活動：六次産業で地域活性化の提案をする

自己の取組や他者の発表から、反省や気づきを書こう。①～③の力は身に付いたか？①～③に関連する気づきや疑問は？

〇〇市の名産品を意外と知らなかった。高齢化だけでなく知名度も改善するべきだと感じた。高齢化による働き手不足に比べ、知名度UPは簡単だと思う。(SNSの活用など)

活動：労働問題から解決策を考える

自己の取組や他者の発表から、反省や気づきを書こう。前回に比べ①～③の力は身に付いたか？①～③に関連する気づきや疑問は？

労働問題は複雑なものが多く、改善策を考えるのが難しかった。働き手が減少している中で、労働問題の中でも長時間労働をまず解決すべきだと感じた。外国人労働者を増加させるとしても、人権問題や居住地域など、新たに向き合わなければいけない課題が増えてしまうのではないかと。

活動：社会保障の持続可能な方向性を考える

自己の取組や他者の発表から、反省や気づきを書こう。前回に比べ①～③の力は身に付いたか？①～③に関連する気づきや疑問は？

北欧型の高福祉を目指すべきだと考えていたが、日本では現役世代が減少しているので難しいのではないかと考えた。持続可能なしくみにするには、所得再分配を強化するのがよいと思った。

単元のまとめ

1. 身に付けたい力に対する自己評価

- | | | |
|--|-------|---|
| ①社会問題に関連する知識を深め、社会問題そのものを理解する力、問題を発見する力を養う | … | (<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C) |
| ②問題を分析しそこにアプローチする解決策を考える力を養う | …………… | (<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C) |
| ③少子高齢社会における「持続可能」なしくみを模索する | …………… | (<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C) |

2. 単元の活動のふりかえり どのような学習活動があなたの成長に繋がったか、具体的に記述しよう。

さまざまな意見を聞いて、新しい視点を獲得することができた。例えば、社会保障でまかなえない部分は地域の中で共助を重視するというのは、より持続可能なしくみを実現できそうだと思った。

3. 学習を踏まえ、あなたが今後少子高齢社会の諸問題に対し持続可能な解決策を考えると、何の課題をどのように考えていきたいか。理由とともに記述しよう。

少子化が進行してしまうと、今後のさらに現役世代が減少してしまうので、優先すべきは少子化対策である。少子化対策のためにも、現役世代の暮らしやすさを優先したい。社会保障などの負担を抑えたり、賃金上昇などで経済的な余裕を作っていけば、少子化対策になると思う。また、社会保障は人々のニーズに合わせて柔軟に選択できるようにすると無駄が減ると思う。社会のニーズが何かを自分でも考えていきたい。